

本日ご議論いただきたい事項

- 小委員会の初回に当たり、資料5の各論点について、御質問、御意見をいただきたい。

- また、資料6の各論点や、その他今後の方向性等についても御質問、御意見をいただきたい。

水環境保全のための取組状況(資料5)の各論点

1 速やかに解決されるべき課題

- (1) リスクに関連する環境基準項目の継続的な検討
- (2) 湖沼の水質改善
- (3) 閉鎖性海域の水質改善
- (4) 地下水・土壌汚染対策
- (5) 海洋環境の保全
- (6) 水問題への国際貢献
- (7) 未規制小規模事業場
- (8) 生活排水対策（人と水のふれあいの推進）
- (9) 面源負荷

2 新たな施策の枠組みをつくる取組

- (1) 国民の実感に合った環境基準への見直し：底層DO、透明度、大腸菌等
- (2) 排水規制のあり方
- (3) 気候変動への対応
- (4) 水ビジネスの海外展開

3 これからの時代に向けた水環境行政の展開

- (1) 生物多様性の確保と水圏生態系の保全
- (2) 地域特性を的確に把握できる水環境指標

4 水環境保全を推進する基盤づくり

- (1) 水環境のモニタリングとデータの蓄積
- (2) 担い手の育成
- (3) 技術開発・技術活用普及
- (4) 環境教育・普及啓発
- (5) 統合的な環境管理の検討
- (6) 施策のマネジメントサイクルの確立

小委員会で特に具体的に検討を行う予定の論点

a. 良好な環境の創出に向けた取組

- 豊かな水辺等の保全により地域住民のウェルビーイングの向上と地域活性化を実現する取組
- 水質管理のみならず生物多様性の保全や地域づくりに資する総合的な水環境管理を目指すための取組
(キーワード：名水百選、里海づくり、地域活性化、みずしるべ、水生生物や景観などの多面的モニタリング、ウォーターポジティブ)

b. 水質事故対策の推進

- (キーワード：水質汚濁防止法、指定物質、事故・災害対応、水道行政と水環境行政の連携促進)

その他、水環境行政について、今後の方向性等

- 環境基準、測定・分析方法の方向性
(キーワード：COD・BODの在り方、一斉分析・スクリーニング、簡易分析、生物指標)
- 排水基準などの排水規制・管理の枠組み
- 脱炭素への取組、効率性、他分野との連携、関係機関との連携（地方環境研究所含む） 等